

○中込 啓一<sup>1</sup>

<sup>1</sup>武蔵野大薬

この 30 年「医療費抑制」は国家的課題であり、「薬価改定」、「医薬分業」そして「後発品使用」と政策が進められてきた。約 20 年間このような環境下で、薬学部卒業生の進路は、薬局薬剤師、病院薬剤師への割合が増加し、製薬企業への割合が減少した。その理由として「医薬分業」の進展や「病棟業務」の拡大による、供給側である薬学生の進路希望の変化が推察される。

しかし、需要側である製薬企業が求める人材は変化していないのか。製薬企業が欲しい人材の素養はなにか？多様な専攻の出身者からなる組織の中で、「人材育成」はどうおこなわれるのか？将来の globalization も含めて率直にご議論願いたい。